

第 7 回酵素学研究拠点シンポジウムの開催について

徳島大学疾患酵素学研究センター（センター長：福井 清）では、第 7 回酵素学研究拠点シンポジウムを以下のとおり実施致します。

1. 概要

勝沼信彦先生は、我が国初の酵素学の研究所として 1961 年に設立されました徳島大学医学部附属酵素研究施設の初代教授としてご就任になり、爾来タンパク質の分解酵素プロテアーゼの研究に尽力され、骨粗鬆症やアレルギーなどの治療薬開発に多くの業績を残されました。徳島大学疾患酵素学研究センターでは、勝沼信彦先生の 2013 年 11 月 10 日ご逝去から 1 年を迎えるに際しまして、勝沼先生のご功績を称え、ご遺徳を偲ぶ「第 7 回共同利用・共同研究「酵素学研究拠点」シンポジウム- 勝沼信彦名誉教授追悼記念講演会 - *Professor Nobuhiko Katsunuma Memorial Symposium* 代謝調節、プロテアーゼ研究から創薬研究への歩み」を開催いたします。

2. 日時 平成 26 年 11 月 14 日（金） 13:00～17:50

3. 場所 徳島大学藤井節郎記念医科学センター1F 藤井節郎記念ホール

4. 内容

13:00～13:30 開会挨拶

13:30～14:30 津下英明 京都産業大学総合生命科学部 教授

「細菌感染症因子とホストタンパク質複合体の構造生物学：勝沼信彦先生とご一緒した 12 年間の健康科学研究所での思い出」

14:30～15:30 Vito Turk Former director of J. Stefan Institute, Slovenia

「Lysosomal cathepsins and their protein and synthetic inhibitors -50 years of success」

15:45～16:45 木南英紀 順天堂大学 学長

「リソソーム、リソソームプロテアーゼ群、そしてオートファジー」

16:45～17:45 木戸 博 徳島大学疾患酵素学研究センター 特任教授（名誉教授）

「インフルエンザ感染症の重症化とその予防と治療：恩師と歩んだプロテアーゼの病態代謝研究」

17:45～17:50 閉会挨拶

18:00～19:30 意見交換会

お問い合わせ先

部局名 疾患酵素学研究センター

責任者 立花 誠／福井 清

担当者 塩田／石井

電話番号 088-634-6422/088-633-7430

メールアドレス kyoten@tokushima-u.ac.jp